

団体名	創作オペラ「貞奴」プロジェクト		
助成金種類 事業名	まちづくり助成＜2 年目＞ 地域文化芸術レガシーの承継と新たな挑戦 2： 第 2 回貞奴芸術祭(萬松園編と映画編)の開催事業		
事業概要	世界で活躍し、日本の近代舞台芸術の先駆けとなった、各務原ゆかりの川上貞奴を顕彰して、各務原内外の音楽家・芸術愛好家らと共に芸術祭を開催する。各務原の新たな魅力的なコンテンツの創出へ向けて第一歩を踏み出す。		
事業費総額(確定)	415,776 円	助成金額(確定)	114,000 円
主な経費内容	出演者謝礼、チラシ印刷代、事務用品代、通信費、パネル出力費、資料等印刷代、振込手数料、チケット販売手数料、会場使用料、機材レンタル費用、映画編技術委託料		
●実施内容			
①第 2 回貞奴芸術祭「萬松園編」開催（参加者30名、スタッフ10名） 令和5年8月7日(月)12:30～16:00、 萬松園を舞台に以下イベントを実施。			
・トークショー:高北幸矢さん (元名古屋造形大学学長で名誉教授、 清須市はるひ美術館館長 愛知芸術文化協会理事長)			
・ミニコンサート:清水友美さん、 金光順子さん、安永ゆかりさん			
②第 2 回貞奴芸術祭「映画編」開催(来場者450名、スタッフ50名) 映画出演者への興味をきっかけに来場した10代から歴史が好きな高齢者まで、幅広い年代の来場者が各々の目線で川上貞奴の存在や地域映画の魅力に触れた。			
・令和6年3月3日(日)13:00～16:30、産業文化センターあすかホールで映画上映。 (1)貞照寺入仏式記録映画(文化財課デジタルアーカイブ)上映 (2)映画「貞奴、大いに笑う」(各務原映画祭実行委員会 制作)上映 (3)トークショー 司会:やながせゆっこ 登壇:大野達也(監督)、映画出演者等			
・令和6年3月2日(土)13:00～3月4日12:00、かかみがはら 21 プラザでパネル展示 「貞奴さんと、貞奴さんをめぐる市民活動展」を開催。 創作オペラ「貞奴」プロジェクトや各務原映画祭実行委員会だけでなく、各務原市教育委員会・中山道鶴沼宿ボランティアガイドの会・名古屋市旧川上貞奴邸「文化のみち二葉館」・茅ヶ崎の「音貞 OPPAKKE 祭」・市内和菓子店の「河田秀正堂」が展示に協力した。 川上貞奴の生涯や活躍、文化へ与えた影響などの紹介とともに、川上貞奴にまつわる地域での活動が紹介された。			
●事業の成果			
・「貞奴」をキーワードとした各務原の魅力の再発見と発信に貢献できた。			
・インターネットラジオ「ゆめのたね」への出演、FM湘南ナバサへの出演により、広域への発信ができた。			
・迎賓館サクラヒルズ、茅ヶ崎の音貞 OPPAKKE 祭実行委員会、各務原映画祭実行委員会、中山道鶴沼宿ボランティアガイドの会、名古屋の文化のみち二葉館、はなもも短歌会、河田秀正堂など多くの団体や事業者と連携ができた。			
・萬松園編では、音楽だけではなく内容を含めたため以前とは異なる層の来場者が見られた。音楽だけではなく文化活動の地域・市民間での共有に貢献できた。			
・映画編では図らずも令和6年2月に焼失した貞照寺鐘楼堂の最初と終わりを映像で見る機会となり、アンケートからも「タイムリーな企画だった。」「貴重な映像だった。」などの声が寄せられた。			
●団体の活動目的・目標			
この会は、各務原市にゆかりのある川上貞奴の生涯をオペラとして企画、構成、演出し、演奏・上演することを主たる目的とし、地域の芸術、文化の振興に寄与するものとする。また、会員および連携先との和を大切にし、貞奴が「無欲・無心」で芸に打ち込んだように、創作オペラ「貞奴」を創り上げ、次代に承継していくことに努力する。			